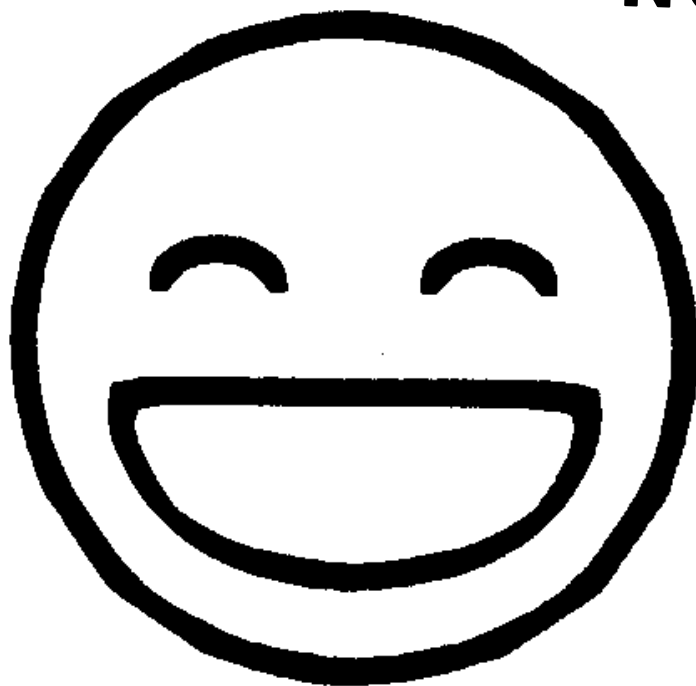


HSK NPO 法人「文福」ニュース

「障」ちゃん

NO, 202



— もくじ —

冒頭の一言 (6) … 2	ためきマス報告… 3-5
Penko … 6-7	上映会のお知らせ … 8-9
総会講演録 2… 10-12	運営会議報告 … 13
ありがとう+編集後記 …14	今後の予定 … 15

冒頭の一言

(6)

この間、ほぼ全国一斉に、春一番が吹き荒れました。どなたか吹き飛ばされた方はいませんか？春一番のような強風には気を付けましょう。

先日、初めて知ったのですが、春一番はかなり怖いことらしいです。キャンディーズの歌のような、明るい晴れやかなことではないようですが、せっかくの待ちに待った春ですから、楽しくいきましょう。

春と言えば、出会いと別れの季節です。新しい所に旅立っていく人や、新たにやってくる人も…。それぞれ気持ちを新たに頑張っていきましょう、とかナントカイッチャッテ、どこかの学校の校長のようなことを口走ってしまいました。

それはさておき、今月のニュースのメニューは

コムサポ講演録②、おひとり様珍道中、ためきマス報告、上映会のお知らせ、運営会議報告、ありがとう報告・編集後記

といったラインナップになっています。読むのに気をとられて春の風に吹き飛ばされないように気を付けてください。



春一番

pinta.jp - 14782838

(2)

たぬきマス報告

去る 12 月 13 日。たぬきマスライブパーティーを行いました。今年はなんと第 10 回目ということで記念すべき回になりました（パチパチ〜）場所はいつもと一緒に、「滑川市民交流プラザ」にて行いました。

今回やってみて思ったこと。それは「継続は力也」と「感謝」の 2 つです。毎年やってきているこの企画ですが、振り返るに、実に様々な人達にお世話になりながら成り立っているなあと。

まず、会場まで足を運んでくださるお客さんと会場の運営スタッフの皆さんであったり、イベントに出演していただいた出演者の皆さん、準備も含めて、当日イベントを手伝ってくださるボランティアの皆さん、また、パンフレットに広告を出してくださるお店の方や出店をしてくれる出店者の皆さん、とぼつと言えただけでこのくらいの方々がおられるわけですが、この方々がいるからこそ 10 年も続けてこられたのだと思います。決して夢宙人だけではこれだけ継続してこられなかったに違いない。こんな紙面ではありますが、関わってくれた人々に深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。またこれからも続くので宜しくお願いします。

物事は継続することによって、周知しやすくなります。何回もやることによって、「じゃあ次また行こうかな」とか、「次はこうしてみよう」とかなったり、イベントをしていること自体がより多くの人に知ってもらえたりと。継続は難しいけど、やればやるだけ力になっていくように思います。そのことを踏まえて「たぬきマス」ですが、回を重ねるごとに良くなってきていると思います、個人的に。毎年来てくださる方々はお気づきかもしれませんが、ちょっとずつ違うんですね、様々なところが（笑）お試しと言うか、挑戦というか、やってみよう精神でやらせてもらってます。そんなわけでまたこれからも変わっていくかもしれません。ココがこうなれば良いなあとかありましたら、夢宙人にお気軽、お気楽にお願いします。

しまった！「たぬきマス」自体を振り返ってもしようがない。今回を振り返らねば（汗）

と、そんなこんなで、今回思うのは、「人」に助けられましたね。多くの方にボランティアをしてもらいました。そのおかげもあり、いつもよりも余裕を持って当日を迎えられたと思うし、当日もそんなに慌てることなく対応できたように思います。今回は大きく違ったのは会場の配置でしょうかね。ブッフェのところとお菓子のところを分けました。あと、これは去年もなのですが、食器返却ブースを設けたり、とやはりちょっとずつ変えております（笑）軽く

第三郵便物承認 HSK 『文福』ニュース『障』ちゃん NO,202』通巻 4255 号 2016 年 3 月 1 日発行
たぬきマスの 10 年を振り返った後に毎年ながら海岸組さんの熱いオープニングから始まり、NONA さん、マツバラーズさん、大谷クリスマス楽団さんと続き、ハルジタクさん&夢宙人で締めました。最初からずっといてくれる人もいたり、途中からは勿論、終わり際なのに来てくれる人もいてくれたりして、なかなか皆さんに愛されている企画だなあと実感できました。

今回、お菓子が少なかったと思いますが、原因は作成段階にありました。というか作り手か？ふふっ。担当者は何を隠そう、吉田健太（ニヤリ）。

はい、すいません。ボクが失敗したんです。作ったもののほとんどを出すことができず、日の目を見ることなく…でした。本当に申し訳ない。今、お菓子に対して復習による復讐を考えているので来年を是非楽しみに。

今年は、何気にお酒類も販売していました。ライブ中は皆さん思い思いに盛り上がりあってもらって、飲んで食べてだったと思います。最後はなんか、ステージかお客さんか入り乱れて“かちゃかちゃ”に盛り上がり、すごく楽しかったです。

最後の後片付けもまたお客さん出演者限らず手伝ってもらえて、すごく助かりました。皆さん、あたたかい。

やはり「たぬきマス」は皆さんのあたたかさや優しさのおかげで成り立っているんですねえ。ありがとうございます。個人的な反省はものすごくあった今回でしたが、楽しくそして無事に終わることができました。

これからも夢宙人と夢宙人企画共にまたよろしくお願いします。



Penkoのおひとりさま
珍道中!! (part13)

とほほな話

春

昨年3月14日に新しい富山駅がオープンし、北陸新幹線が開通したその日、以前からノートパソコンの調子がよくなく、家電量販店まで運びに行った。そして、開けてみたら青ざめた。なんと、液晶にひびが入り割れていた。呆然とし、しばらく何も考えられなかった。車いすのひっかける場所がいけなかったと思われる。新しく買い替えることになったが、値段について部品が高くなったということで10万円を超えることになった。しかもWindows 8のオフィスソフトの2013(Word・Excelなど)。今まで2010で使い慣れていて操作は基本変わらないのだが、新しい操作を覚えなければならず、今も四苦八苦している。しかも内蔵されているイラストがつまらないんです。

夏

8月に入り、冷蔵庫の冷蔵室が冷えなくなった。原因わからず一週間様子を見たが、冷えない。ここで思いっきり大きい冷蔵庫に買い替えようと思い、いつもの家電量販店に行ったらちょうどセールをやっていた。しかし今は下が冷凍室のタイプが多い。それも引き出し型。私は一人にいる時、たまに自分で開けて食べ物を取ることがあり、扉タイプでないと都合よくないのだ。自分で扱えるタイプが少なく、高いものばかりだったが、仕方なく買うことにした。その後は容量が大きくなり食べ物や飲み物がたくさん入るので良かったと思っている。

秋

今度はプリンターがおかしくなった。液晶にエラーマークが出ているいろいろ調べたが、消えない。一度インクの出が悪くなり、修理してもらったことはあるが、修理に出す気にはなれなかった。お店に連絡したら「これはだめだ。」と言われた。同じメーカーで前は白、今回はワイン色にした。インクも高くなった。

今年に入ってオープンレンジがいうことを聞かなくなった。上に乗っているターンテーブルの接触だろうと思ったが。気まぐれで動くこともありヘルパーさんを困らせた。しかしとうとう電気もつかなくなった。お店へ見に行きターンテーブルなしの製品を見つけ即決した。

一人暮らしをして 5 年目になるがこれほど続くとは…次は洗濯機ではないかと恐怖でいっぱいになる。今はクレジットで支払っている。家電量販店に対してはすごく貢献してるのではないかとさえ思う。修理を出したらいいと思うが、修理代と買い替えの金額はほぼ同じ。すぐまた壊れると思い、新しく買い替えて気分一新して長く使う方がよいのだろうとここ最近思う。



フィンランドの知的障害者のロックバンドの映画を見て、
語り合う集まりに多くの人たちの参加を！

私たち「障害者の社会参加を進めるネットワーク連絡会（準備会）」では来たる、3月26日（土）の午後13時から17時までサンフォルテ304にてフィンランドの知的障害者の4人のロックバンドである“ペルッティ・クリカン・ニミバイヴァト”のドキュメンタリー映画を上映して語り合う集まりを開きます。

この映画の内容は知的障害者のペルッティ、カリ、サミ、トニの4人のパワフルなロックバンドが一枚のレコードを出すためのレコーディング風景やロックコンサートの映像場面や4人それぞれの日常生活やこだわりや生立ちを描いた映画で、感動あり、笑いあり、人生の教訓ありで全体を通して面白いドキュメンタリー映画ですが、各々の人がそれぞれどこか1か所が感動や教訓を得る映画だと思います

この映画の内容は知的障害者のペルッティ、カリ、サミ、トニの4人のパワフルなロックバンドが一枚のレコードを出すためのレコーディング風景やロックコンサートの映像場面や4人それぞれの日常生活やこだわりや生立ちを描いた映画で、感動あり、笑いあり、人生の教訓ありで全体を通して面白いドキュメンタリー映画ですが、各々の人がそれぞれどこか1か所が感動や教訓を得る映画だと思います

私たち「障害者の社会参加を進めるネットワーク連絡会（準備会）」は色々な障害者団体やボランティア団体や障害者が地域で生きるために活動している営業所や企業・個人の人たちがネットワークを作って個人の障害者の社会参加を進めたり、地域で生活することを目指して今年の7月か9月に結成を目指しています。

そのため、これまで私たちは8回ほどいろいろな障害者団体や障害者サービスを提供する営業所の人やボランティア団体等の人たちになぜそういったことを始めたのかとか、今どういったことが問題なのかとか将来の希望を語

第三郵便物承認 HSK 『文福』ニュース『障』ちゃん NO,202』通巻 4255 号 2016 年 3 月 1 日発行
る集まりを作って色々な人の経験や体験考えを聞いたりみんなで話し合う中で交流してきました。

そして、この度志向を変えてフィンランドの知的障害者のパワフルロックバンドである“ペルッティ・クリカン・ニミバイヴァト”のドキュメンタリー映画を見て、語り合う集まりを開きます。もう少し、詳しい映画の内容はこのチラシの裏の映画のジャケットを見て下さればわかると思いますが、多くの人たちがこのフィンランドのパワフルパンクロックバンドの映画を見て、色々な感想を述べ合い語る集まりに気軽に参加して下さることを願っています。よろしく！

「パンク・シンドローム」上映会 参加費無料

日時：2016 年 3 月 26 日（土） 13 時～17 時

場所：サンフォルテ 304

連絡先：

障害者の社会参加を進めるネットワーク連絡会

TEL 090-4321-4749（村上）

Mail sssn@outlook.jp



第 13 回文福総会記念講演録②

「自立生活センターCom-support Project(福井)と今後の展望」

もちろんその中には、楽しいことも当然含めてやってきているわけですが、今こういった活動が 13 年目を迎える中でまだまだ福井というのは変わっていません。もちろん変わったと感じれることも多々あります。先ほど何度かでている役所との関係においては、ちょっと今年担当がガラッと変わってしまったのですが、障害を持った人たちが地域の中で生活をする、生きるというすごく当たり前のことが前提に福井の中では出来てきました。

それから福井の地域でも長時間の介助保障というのが実現されてきています。

そしてもちろんそれに限らず、色んな学校での講演であったり色々な研修やそういうことを通して、私たちがどういうことを社会に働きかけたいかということを常に発信し続けています。

そうして今約 13 年たって、最初 5,6 人からはじめたコムサポートですが、現在代表を私が務め、当事者スタッフといわれるのは松本もですが他 3 名、現在私も入れて 5 名がいます。

そして健常者スタッフも含めるとだいたい 50 人ちょっとの団体になりました。その中で、これから私たちの団体が、どういう風に地域に根ざして、今何が必要でどういうことをしていくべきか、私たちの中でも模索しながら日々活動しています。

では、ちょっとここから今現在のコムサポートプロジェクトがどういう活動をしているのかというのを映像を見ながら説明させてもらいたいと思っています。見えますか？(プロジェクトに示す) 自立生活センターコムサポー

トプロジェクト組織図を簡単にまとめてみました。

上のほうに介護保障とか書いてありますけど、これは全国の団体ですね、DPI とかこういう全国の団体さんともつながっています。そして、各地域の団体さんともつながりをもたせて頂いています。そして、自立生活センターというのはご存知の通り当事者が主体ですので、どういう活動をしていきたいとか、中心となるものを当事者が決めていくという形、ここにももちろん当事者だけでなく、健常者スタッフも含めて考えて行きますが、決めていくことを当事者中心で作っていくというのが自立生活センターです。そして活動なんですけども、これまで従来はたとえば、こういう仕事があるんだけど誰かやれる人いる？っていうことで振ってきたのですね。それでは 1 部の人に偏ってしまうので、もうちょっとグループ化して 1 人に偏るのではなくて、そのグループで動いていくということにした方が動きやすいんじゃないかということで、グループ化しています。ちなみにコムサポートプロジェクト、母体は任意団体です。で会員制の任意団体です。

権利擁護活動だったり、ピアカウンセリング、自立生活プログラムを行っています。そして、その一部で介助派遣事業をやっています。そこだけで NPO をとっています。

なので NPO の方で介助料だったりとか、大きいお金が動いています。自立生活センターは助成金であったり、会員さんの会費だったり一部はそういう派遣事業のお金部分で運営されています。

活動の中で C I L 部門と NPO 部門と分かれているのはそういう意味です。今からですね、主にこういうことをやっているよ。というのをこの 2 つある部分をちょっとお話させてもらえたらなと思います。

杵本) 私は、京福バスとの合同研修 (紙を見ながら説明) コムサポートプロ

ジェクトの主に権利擁護を担当しています。

吉田) 福井の公共交通機関と研修をやったり要望書を提出したりという活動を、この中でやっています。福井で公共交通の中心を担っている京福バスさんと合同で研修をやっています。

この研修自体、2年前からはじめたもので、障害者への接客があっているのかどうか、スロープ、シートベルトの扱いは正しいかどうかとか、あと運転手さんに車いすに乗ってもらって、どのように感じるのか、体験してもらうということを大体年に3回くらいの頻度でやっています。

詳しいことはこの(配布された紙に書いてある)ホームページに載っていますのでまたご覧下さい。(紙を提示しながら)この公共交通機関さんも状況は今、すごくいい関係を作っているのですが、かつては乗車拒否とか接客に関して、本当に怒号が飛び交うような交渉をずっと繰り返してきたんですね。あるときからですね、そこをもう一回、お互いが良い方向になるように一緒にそういう研修会を開こうということで、この2年の中ですごく良い関係が作れました。

杵本) (二枚目のバリアフリーの紙を提示して) これは福井県の投票所、お店、車椅子の利用など、福井国体に向けていろんな取り組み、調査を行っています。

他にも権利擁護というところで、障害者が差別や虐待を受けたという相談を受けたり、その事を関係機関や地域社会に訴えたりする事などをここでしています。あとは活動グループメンバー内で月1回学習会をしています。

吉田) 話はさかのぼるのですが、選挙に伴うロビー活動をしています。その権利擁護の中で勉強会も継続的にやっています。

梅田) 企画営業部の梅田です。写真でもでてるように啓発活動。この写真

は講演会を写している様子です。講演先としては、県内の大学の授業の一コマであったりとか、最近だと福井市ではないのですが、別の市の市役所の新人研修の講師も行っています。その講演会で行く先に合わせて、いつも自立生活センターってどんなところってということや会の活動の説明をしたり、受講生にグループワークをしてもらったりしています。

企画営業部では講師派遣の窓口、各種イベントの企画を行っています（梅田さん説明）

コムサポートのスタッフ、利用者さん映っているんですけど、年間行事として新年会とお花見、夏のイベント、最後にクリスマスパーティー等を行って



います。このイベントの日はスタッフも利用者さんも関係なくてほとんどの利用者さん和気あいあいと楽しくやっています。また会員さん対象のイベントもあたり、人数は結構多くなって、普通にお店での飲み会であったりとか、写真にでているようにバンドの演奏で

あたりとか楽しく過ごしています。

次回最終回です！！

運営会議報告

2016, 2. 9

◎ 各部からの報告

『学習会』・2/19 (金) DVD 「マリーとマルグレット」の上映会を行います。

『部会』・総会の講演者は、障害者自立支援法違憲訴訟裁判を担当した弁護士に打診している。

・1/20に富山市障害福祉課・介護保険課と話し合いの場を持った。障害者のヘルパー制度を利用してきた障害者が65歳になると介護保険利用が前提とされる今の制度の問題点について介護内容と自己負担の2つの面から話し合った。

『派遣』・男性非常勤ヘルパー1名1月付で退職。女性の学生アルバイト4名採用。

『レクリエーション』

・1/30に餅つきを行った。カンパを沢山頂きありがとうございました。

・今年度は3月上旬にもう一回イベントを考案中。

・来年度の年間計画作成中。

・3/21日帰り旅行を予定

『障ちゃんニュース』

・次号のメ切は2/16 (火) 発送は2/27 (土) ニュース印刷担当は次号より順次引き継ぐ予定。封筒印刷は外部に依頼した。

『まっち』・今年度中に出します。

◎ 総会について

・6/11 (土) 教育文化会館にて行う。テーマは3月の部会で決める。

・今から今年度の報告と来年度の計画を各部で立てる。

◎ 事務局より

・就業規則 社労士事務所より改正案が出され、担当者と事務局・管理者で検討中。

・年度末なので、事務所の備品で必要なものは、河上まで言ってください。

・各部で年間計画を立てたら、河上まで送ってください。表にします。

◎ 障害者の社会参加を進めるネットワーク連絡会 (準備会) より

・3/1 (火) 第5回障害者の社会参加を進めるネットワーク連絡会 (準備会) を CiC の学習室にて行う予定。

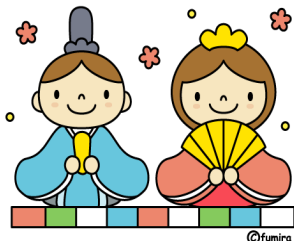
・3/26 (土) サンフォルテでDVD 「パンクシンドローム」上映会を行う。フィンランドの知的障害者のバンドのDVDです。

◎ その他

・新しいホームページは、後、アップするだけになりました。

・事務所でブルーレイコーダーを購入しましたので、皆さん活用してください。

ありがとう&編集後記コーナー



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

もう、3月になろうとしています。3月と言えば、お雛様ですね。また、受験が終わって卒業式、そして、別れの季節ですよね。3月は、いろいろな行事がある月ですね。

新規会員・継続・講読会員

池田 久美さま □

カンパ

河上 千鶴子さま

物品提供

愛木 洋介さま 佐々木 優さま 田中 直美さま 田畑 亜矢さま

能登 泰子さま フードバンクさま 升谷 千春さま 渡辺 明子さま

渡辺 涼さま

さて、3月11日で、東日本大震災があってから丸5年になります。原発事故であれだけの被害が出ているのに、また次から次と再稼働を始めています。まだ、被害が続いているのに、反対の声があまり上がっていないように思えますが、報道されないだけなのでしょう。また、3月14日で、北陸新幹線が開業して1年になります。新幹線が開業後に飛行機の搭乗者数が減って、3月の終わりから2往復減便になります。



☆☆☆☆☆☆☆☆ (アパッチ)

◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきます。いきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎ 障害者と家族激励会

日・時 3月21日(祝・月) 10時～14時30分
場所 富山観光ホテル
参加費 1,500円(昼食、弁当代等)
申し込み締め切り日 2月末
主催 富山市身体障害者福祉協議会
TEL 076-428-0181

*式典とアトラクション(民謡・チンドン)があります。

◎ 映画上映会&トークセッション with 鎌仲ひとみ監督

小さき声のカノン ー選択する人々ー
日・時 3月27日(日) 13時～16時30分
場所 サンシップとやま 1F福祉ホール
主催 NPO 法人にぎやか
TEL 076-431-0466

◎ パンク・シンドローム DVD 上映会

日・時 3月26日(土) 13時～17時
場所 富山共生センターサンフォルテ 304号室
参加費 無料
主催 障害者の社会参加を考えるネットワーク連絡会(準備会)
TEL 090-4321-4749(村上さん)

*文福も協賛しています。

◎ イベント企画や事務のお手伝い・他

日・時 応相談(随時)
場所 富山市障害者福祉プラザ・他
問い合わせ スペシャルオリムピクス日本・富山
TEL 090-3888-7608(渡辺さん)

*運営ボランティアを募集しています。



発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

ぶんぷく

編集人：特定非営利活動法人 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定 価 50 円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。